

子供の事故を防ぐために

# 生協の赤ちゃん事故予防の取り組み

## ① 事故予防の啓発

赤ちゃんのための 事故予防ガイドブック

子どもと楽しく過ごすために  
気をつけておきたいこと

全国の生協を通じ、製作したガイドブックを  
3年間で20万人以上の方に配布しています。



この取り組みを  
いろいろな世代の人に  
知ってほしい！

予防の意識を  
改めて考える  
きっかけになった！



参加者の声

ワーク形式で  
他の人の話もきけて  
よかった！

## ② 保護者どうしの 学びあい

ワークショップ

「楽しく子育て 防ごうよ！  
子どもの事故(赤ちゃん・室内編)学習会」

事故予防のための学習資料の製作を行い、0～2歳未満の子どものいる家族の方、妊娠中の方を対象にワークショップを開催しています。

■学習会の流れ

- ひやりとした体験をカードに書き出す
- グループ内で経験を交流する
- ビデオ(子どもの事故の状況や予防に関する内容)と講師による講義
- 事故の解決法を考える(家の間取図などを使用)
- 振り返りながら、「これからやることをカード」を記入

■赤ちゃんの事故予防シート



赤ちゃんに起こりやすい事故や、事故が起きたときの対処法などについて、シートを使って学びます。



学習会前のコミュニケーションタイム 参加者どうしてひやりとした経験を交流

## ③ 事故予防の ための講演会

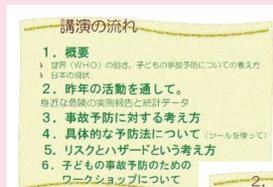
講演会

「知っておきたい  
子どもの事故予防の基本」

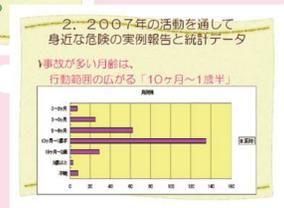
保護者向けの講演会を開催し、  
たくさんの方にご参加いただいています。



あいこブみやぎで行われた講演会の様子



グラフツールを利用して  
わかりやすく、役に立つ  
お話をしています。



# 生協は「赤ちゃんの事故予防」の取り組みを通して、 子育て中の親子を応援していきます！

① 事故予防のための  
ガイドブックの配布数

年度	配布生協数	配布部数
2006年度	35	90,619
2007年度	48	62,181
2008年度	46	56,048

② 保護者向けの  
ワークショップ形式による  
事故予防学習会の開催実績

年度	開催生協数	参加者数
2007年度	12	151
2008年度	5	76

③ 保護者向けの事故予防講演会の  
開催実績

年度	開催生協数	参加者数
2008年度	3	110

■学習会・講演会に  
取り組んでいる全国の生協



開発主体：(有)セレーノ、日本生活協同組合連合会、日本コープ共済生活協同組合連合会  
実施主体：日本コープ共済生活協同組合連合会およびCO・OP共済実施生協